

診 療 科 案 内

令和5年度



済生会長崎病院

ひとり一部屋、ひとり一人と向き合う医療を提供します。

理念

済生の精神をもって 心のこもった医療を実践する

基本方針

地域に密着した急性期病院

救急医療を推進する病院

医療人の育成に力を入れる病院

職員の成長と活力を大切にする病院

最高品質を求めて変革していく病院

スローガン

ひとり一部屋、ひとり一人と向き合う医療を提供します。

患者さんの尊厳を重視した、全室個室の病院です。



患者さんの権利

＜受療権＞

1. 個人の尊厳が保たれ、いかなる差別もなく、安全で良質な医療を公平に受ける権利があります。

＜知る権利＞

2. わかりやすい言葉で、病状、診断、予後、治療方法などについての説明を求めることができます。

＜自己決定権＞

3. 納得できるまで説明を受けた後、医療従事者の提案する診療計画などを自らの意志で決定することができます。

＜プライバシー保護権＞

4. プライバシーを保護される権利があります。

＜セカンドピニオン権＞

5. 他の医師に相談する権利があります。

患者さんの義務

＜情報提供義務＞

1. 医療従事者に対し、自身の健康に関する情報を出来るだけ正確に伝えて下さい。

＜診療協力義務＞

2. すべての患者さんが適切な医療を受けられるよう、社会的ルールや病院の規則、職員の指示を守って下さい。

＜医療費支払義務＞

3. 適切な医療を維持するために、医療費を遅延なくお支払下さい。

＜医療人育成協力義務＞

4. 医療人の育成という病院の役割のため、臨床教育等に対し、可能な限り協力して下さい。

＜臨床研究協力義務＞

5. 高度な医療を提供するため、臨床研究に対し、可能な限り協力して下さい。

病院概要	4
ごあいさつ	5
診療体制	7
各診療部門の紹介	8
救急センター	9
総合内科	11
循環器内科	13
消化器内科	15
腎臓内科・人工透析内科	17
呼吸器内科	19
皮膚科	20
糖尿病・内分泌・代謝内科	21
小児科	23
外科	25
脳神経外科	26
整形外科	27
産婦人科	29
泌尿器科	32
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	33
麻酔科	34
放射線科	35
病理診断科	36
健診センター	37
臨床研修教育センター	39
医療連携部門	41
病室について	44
アクセス	45

病院概要

所在地 〒850-0003 長崎市片淵2丁目5番1号
TEL 095-826-9236
FAX 095-827-5657

診療科 救急科、総合内科、内科、糖尿病内科、内分泌内科、代謝内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、人工透析内科、脳神経外科、外科、消化器外科、大腸外科、整形外科、泌尿器科、産婦人科、小児科、放射線科、放射線診断科、病理診断科、麻酔科、皮膚科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、リハビリテーション科

病床数 205床（全室個室）：一般病棟 152床
HCU病棟 12床
地域包括ケア病棟 41床

関連施設 済生会長崎福祉センター

メールアドレス info@nsaisei.or.jp

ホームページ <http://www.nsaisei.or.jp/>

第三者評価 日本医療機能評価機構「一般病院2」
機能種別版評価項目:3rdG:Ver.1.1





社会福祉法人^{恩賜財団} 済生会は明治44年に、明治天皇の「恵まれない人々にも医療の手を差し伸べるように」との済生勅語を受けて創設されました。

済生とは「命をすくうこと」を意味しています。当院は昭和13年に設立され、本年、令和5年をもって創立85周年を迎えます。平成21年に現在地の片淵2丁目に新築移転し、従来の慢性期型病院から”入院特化型急性期・救急病院”に変革をし、地域の患者・家族の方に喜ばれる病院、他の病院・診療所に選ばれる病院を目指して診療を行って参りました。

当院の理念は、「済生の精神をもって心のこもった医療を実践する」ことであります。これからも創立の精神を継承し、生活に困窮している人々への支援に力を入れるとともに、安全で安心な最新医療を提供する地域に密着した急性期病院として、その使命を果たしてまいります。

当院の使命は多岐にわたり、中でも国や県から指定を受けた主なものとして次のものがあります。

①「地域医療支援病院」

地域のかかりつけ医療機関との連携、他の医療機関との共同利用、重症患者の受け入れ、地域の医療従事者への研修教育などを実践し、地域医療の充実に中心的な役割を果たします。

②「無料低額診療事業実施機関」

救いを求める当てのない、困り切った病める人に医療の手を差し伸べるという「済生の精神」に基づき“無料低額診療”と“生活困窮者支援”を根本事業として取り組んでおります。今後も使命感を持って生活支援を行いたいと考えております。

③「基幹型臨床研修指定病院」

研修医を積極的に受け入れており、多くの研修医が研鑽を積んでいます。基本的診察能力を身につけた救急・臨床に強い医師の育成に力を注いでいます。また、医学生・看護学生などの実習も受け入れており、将来の医療の発展に貢献しています。

④「災害拠点病院」

大規模災害時に多くの被害者の皆様を救うべく、ハード・ソフト面の充実を図り、演習を行って体制作りをしています。2016年4月の熊本大震災では当院のDMATを含め、2チームを災害直後の熊本に派遣し、医療支援を行いました。また、2020年から蔓延している新型コロナウイルス感染症に対しても重点医療機関として患者の受け入れも行っております。

⑤「新型コロナウイルス感染症重点医療機関」

2020年当初より始まった新型コロナウイルス感染症に対して、重点医療機関として専用病床を確保し公的病院としてその使命を果たしています。



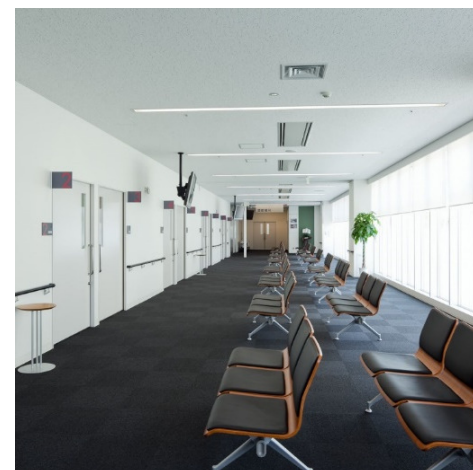
この3年間、当院は新型コロナウイルス感染症重点医療機関としていち早く新型コロナウイルス感染症対応病床を確保し、患者さんの診療に当たってきました。令和5年になってから新型コロナウイルス感染者も減少し、5月8日からは5類に分類されほぼインフルエンザと同等の取り扱いになりました。しかしながら、第9波の到来も心配されており、当院も気を緩めることなく診療に取り組んでまいります。

新型コロナウイルス感染症の蔓延で地域包括ケアシステムの推進が停滞しておりましたが、2025年（令和7年）を目途に、再び推し進めて行く必要があります。高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制の構築を目指さなければなりません。当院でも関連施設である済生会長崎福祉センターとの連携を図り、地域における包括的かつ継続的な在宅医療・介護の提供を行うことを目指しています。

昨今は地震や水害などの大規模災害が頻繁に発生しています。当院は災害拠点病院として、大規模災害に対する準備を怠ることなく、その役割を果たしていきます。

また、当病院の大きな特徴が“205床すべてが個室であること”であり、「ひとり一部屋、ひとり一人と向き合う医療を提供します。」をスローガンにその長所を最大限に活かして医療の品質を追求し、患者さんの満足度を限りなく高める努力を継続して参ります。

本年6月より小児科医師が2名に増え、小児の医療体制が整いました。また7月より総合内科の医師が1名増えますので、多くの患者さんをご紹介いただければと思います。



組織体制

令和5年4月1日 現在

内科系診療部門	総合内科
	呼吸器内科
	循環器内科
	消化器内科
	糖尿病・内分泌・代謝内科
	腎臓内科・人工透析内科
	小児科
	皮膚科

外科系診療部門	外科
	整形外科
	脳神経外科
	産婦人科
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
	泌尿器科

総合系診療部門	救急科
	リハビリテーション科
	検査科
	麻酔科
	放射線科
	病理診断科

健診部門	
健診センター	

中央診療部門	救急センター（E R）
	手術部
	放射線部
	検査部
	内視鏡部
	透析センター
	リハビリテーション部
	消化器病センター
	輸血部
	褥瘡対策部（褥瘡対策チーム）
	栄養サポート部（NST）
	ME 機器管理部
	臨床研修教育センター
	材料部
	よろず相談室
	認知症ケアチーム
	術後疼痛管理チーム
	排尿ケアチーム
	養育支援チーム
	看護部門
	薬剤部門
	診療技術部門
	栄養部門
	医療連携部門
	医療安全管理部門
	感染制御部門
	病床管理部門
	事務部門

各診療部門の紹介

救急センター

医師紹介

整形外科主任部長 / 救急センターセンター長



さきむら こういちろう
崎村 幸一郎

[専門]
整形外科一般
外傷
関節外科

[認定]
日本整形外科学会専門医
日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医
日本DMAT隊員

救急センター副センター長・救急科部長 / 非常勤医師（長崎大学病院 長崎外来救急医療教育室 教授）



ながたに あつこ
長谷 敦子

[専門]
救急医学
麻酔科学
蘇生学

[認定]
・医学博士 ・麻酔指導医
・救急科専門医
・日本救急医学会指導医
・日本蘇生学会指導医
・厚生労働省認定臨床研修指導医
・JATECインストラクター
・ICLSコースディレクター

副院長 / 内科主任部長 / 健診センターセンター長 / 医療連携部門部門長



あしざわ きよと
芦澤 潔人

[専門]
内分泌全般
生活習慣病

[認定]
日本内科学会認定内科医
日本内科学会認定総合内科専門医
日本内分泌学会専門医・指導医・評議員
日本甲状腺学会専門医・評議員
日本医師会認定産業医

脳神経外科部長



うしじま りゅうじろう
牛島 隆二郎

[専門]
脳神経外科全般
脳卒中
脳血管障害
頭部外傷
小児神経外科

[認定]
日本脳神経外科専門医
日本小児神経外科認定医

たかやま はやと
高山 隼人

非常勤医師（ながさき地域医療人材支援センター長）

やました かずのり
山下 和範

非常勤医師（長崎大学病院 高度救命救急センター副センター長・准教授）

たじま ごろう
田島 吾郎

非常勤医師（長崎大学病院高度救命救急センター准教授）

あかし りょうへい
赤司 良平

非常勤医師（長崎大学病院循環器内科 助教）

うえむら えり
上村 恵理

非常勤医師（長崎大学病院高度救命救急センター助教）

診療科の特徴

当院は「救急医療を推進する病院」であることを基本方針の一つとしており、重症救急患者の24時間365日受け入れを行っています。その役割の中心となる救急センターは、全診療科参加型救急医療を実践するための組織です。

地域における救急医療の充実には、各病院・診療所の役割分担に基づいたシステムの構築が不可欠であります。当センターは二次救急医療機関として、初期および三次救急医療機関と密接に連携しながら、その役割を果たしてまいります。特に長崎医療圏の二次救急輪番制を担う病院の一つとして、救急システムの充実に貢献したいと思います。

また地域の災害拠点病院として、広域災害時の救急医療にも力を発揮するよう備えます。遠隔地の災害に対しても、援助要請に即時対応できるよう、災害派遣医療チーム（DMAT）を編成しています。



総合内科

医師紹介

内科部長



いりた あきこ
入田 昭子

[専門]
総合診療
循環器全般

内科部長



なかしま むねとし
中島 宗敏

[専門]
リウマチ膠原病

[認定]
日本内科学会認定内科医
日本内科学会総合内科専門医
日本リウマチ学会専門医・指導医
日本リウマチ財団登録医

内科医長



さかもと あい
坂本 藍

[専門]
総合診療

[認定]
日本内科学会認定内科医
日本医師会認定産業医
日本褥瘡学会認定医

内科医師 / 循環器内科医師



はやの もとのぶ
早野 元信

[専門]
総合診療
内科
循環器一般
不整脈

はまだ ひさゆき
濱田 久之

非常勤医師（長崎大学病院医療教育開発センターセンター長 日本内科学会認定内科医）

まつしま かよこ
松島 加代子

非常勤医師（長崎大学病院 医師育成キャリア支援室室長 教授 総合内科専門医 東洋医学会専門医）

こが ともひろ
古賀 智裕

非常勤医師（長崎大学病院 リウマチ・膠原病内科講師）

うめだ まさたか
梅田 雅孝

非常勤医師（長崎大学病院医療教育開発センター助教 リウマチ・膠原病内科助教）

診療科		月	火	水	木	金
総合内科	午前	中島	入田 (第2・4) 長崎大学 (第1・3・5)	入田 (第1・3・5) 長崎大学 (第2・4)	濱田	坂本

診療科の特徴

「内科の窓口」的役割を担う目的で診療を行っております。

外来診療は、午前中に紹介の有無に関係なく、新患を中心に診ております。午後は原則として予約患者と急患・紹介患者のみです。多領域にわたるコモンディーズや原因不明や紹介する診療科がはっきりしない紹介患者を診ています。当科は、診療所の先生方と機能が重複しないようにかかりつけ医機能を持たない方針としています。かかりつけ医が必要な患者には登録医の先生方を紹介しております。

入院診療は、身体的問題だけではなく、社会的問題を抱える患者も多いため、多職種カンファレンス等のチーム支援・介入を重視しております。地域包括ケア病棟では、別途条件はありますが、定期的な在宅診療を受けている患者・家族の介護支援を目的としたレスパイト入院の受け入れも行っています。

また、プライマリ・ケア研修の場として長崎大学医学部生や研修医の医学教育の場にもなっています。



循環器内科

医師紹介

循環器内科部長



なかた ともお
中田 智夫

[専門]
循環器

[認定]
日本内科学会認定内科医
日本内科学会総合内科専門医
日本循環器学会認定循環器専門医
臨床研修指導医
日本心臓リハビリテーション学会心臓リハビリ指導士
日本心血管インターベンション治療学会認定医

循環器内科医員



くわさき しげき
鋤先 重輝

[専門]
循環器

[認定]
日本内科学会認定内科医
日本心血管インターベンション治療学会認定医
臨床研修指導医

内科医師 / 循環器内科医師



はやの もとのぶ
早野 元信

[専門]
総合診療
内科
循環器一般
不整脈

[認定]
日本内科学会認定内科医
日本循環器学会認定循環器専門医
日本不整脈心電学会認定不整脈専門医
日本医師会認定産業医
米国 Heart Rhythm Society 会員
日本心臓病学会特別正会員

よねくら つよし
米倉 剛

非常勤医師（長崎大学病院循環器内科助教）

外来担当

診療科		月	火	水	木	金
循環器内科	午前	鋤先 米倉	中田	中田	早野 (不整脈)	鋤先 早野 (不整脈)

診療科の特徴

虚血性心疾患（狭心症、心筋梗塞）や心不全、不整脈、高血圧症などの循環器疾患（心臓や血管に関連する病気）の診断と治療を行います。外来では心電図・24時間ホルター心電図・心臓超音波検査・血管超音波検査・末梢動脈の脈波検査・冠動脈CTなどの検査を患者さまの症状に応じて行い、必要に応じて入院して心臓カテーテル検査等を行う場合もあります。そして、診断結果に基づき心不全療養指導士や心臓リハビリ指導士等のスタッフとも協力しながら、最適の治療法を選択し、外来での生活指導（食事の注意、禁煙など）や薬の内服、入院での点滴治療やカテーテル治療など、患者さんごとに最も適切な治療を行い、患者さん中心の医療を心がけ、一人一人の最適な医療を考えながら診療にあたっています。



消化器内科

医師紹介

消化器内科部長



うちだ しんじろう
内田 信二郎

[専門]
消化器全般

[認定]
日本内科学会認定内科医
日本内科学会総合内科専門医
日本消化器内視鏡学会専門医
日本消化器病学会専門医
日本肝臓学会専門医

消化器内科医員



ひらた しょういち
平田 将一

[専門]
消化器全般

消化器内科医員



じんのうち まゆこ
陣内 真佑子

[専門]
消化器全般

外来担当

診療科		月	火	水	木	金
消化器内科	午前	平田	陣内	内田	内田	

内視鏡検査		月	火	水	木	金
胃	午前	内田 陣内	内田 平田	平田 陣内	平田 陣内	当院常勤医師 長崎大学医師
大腸	午後	内田 平田 陣内	内田 平田 陣内	内田 平田 陣内	内田 平田 陣内	内田 平田 陣内

診療科の特徴

消化管(食道、胃、十二指腸、大腸)、肝臓、胆膵領域の消化管全般の臓器の診断・治療を、内視鏡や各種画像(CT、MRI、腹部超音波等)を用いて行なっています。内視鏡検査では、苦痛が少なく、質の高い検査による、病変の早期発見と正確な診断に努めています。

消化管治療では、良性・悪性腫瘍に対する内視鏡的粘膜切除術(EMR)、粘膜下層切開剥離術(ESD)、消化管出血に対する止血術、イレウス管留置、消化管良性/悪性狭窄に対する拡張術やステント挿入術などを行っています。炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎、クローン病)については、個々の患者さんにあわせて、各種薬物療法(生物学的製剤、ステロイド、免疫調節薬)、白血球除去療法などを用いて診療にあたっています。

胆膵疾患では胆石、総胆管結石、膵炎等の良性疾患に対しての内視鏡を用いた経乳頭的処置(ERCP関連)、経皮経肝的処置、薬剤治療、胆管癌、膵癌等の悪性疾患に対しての精査およびステント留置術、化学療法などをおこなっています。

肝疾患では各種肝障害に対しての精査、ウイルス性肝炎に対する抗ウイルス治療、肝癌に対する局所治療、肝動脈塞栓療法などをおこなっています。

消化器疾患は臓器が多く多岐にわたりますが、外科、放射線科と連携を取りながら一人一人に最適な医療を提供できるよう心がけています。



腎臓内科・人工透析内科

医師紹介

腎臓内科部長



もり あつし
森 篤史

[認定]

日本内科学会認定内科医
日本内科学会総合内科専門医
日本透析医学会専門医
日本腎臓学会腎臓専門医
日本腎臓学会認定指導医
厚生労働省指定指導医

腎臓内科医員



もりもと みさと
森本 美智

外来担当

診療科		月	火	水	木	金
腎臓内科	午前	森				森
	午後	森 (新患のみ) (第2第4)	森		森 (新患のみ) (第1第3)	森

診療科		月	火	水	木	金	土
透析	午前	森 森本	森 森本	森 森本	森 森本	森 森本	森 森本
オーバーナイト透析		森		森		森	

診療科の特徴

腎臓病に関しては蛋白尿、血尿からわかる慢性腎炎の診断治療、また腎炎以外の糖尿病性腎症・腎硬化症などの生活習慣病に由来するもの、多発性嚢胞腎などの遺伝性疾患など様々な腎疾患に対応しています。またいずれの原疾患としても必要なCKDのステージに応じた管理・教育入院を含めた生活指導も行っています。そして慢性腎不全の末期状態、尿毒症に対する透析治療および心血管系合併症まで、腎臓病に関して総合的な診療を行います。透析に関しては血液透析では標準透析・長時間透析・オーバーナイト透析と様々な形で提供しています。腹膜透析も入院・外来ともに行っています。腎移植に関しても希望者には移植施設に紹介することもあります。



呼吸器内科

医師紹介

副院長 / 呼吸器内科部長



ふつき ようじ
夫津木 要二

[専門]
呼吸器感染症
呼吸器一般

呼吸器内科部長



はらだ ようすけ
原田 陽介

[専門]
呼吸器一般

[認定]
呼吸器専門医
感染症専門医
日本内科学会総合内科専門医
日本内科学会認定内科医
日本化学療法学会抗菌化学療法認定医
ICD制度協議会
インфекションコントロールドクター認定

呼吸器内科医員



さとう ゆうじ
佐藤 雄二

おくの だいすけ
奥野 大輔

非常勤医師（長崎大学病院）

外来担当

診療科		月	火	水	木	金
呼吸器内科	午前	佐藤	原田	奥野	夫津木	原田

診療科の特徴

呼吸器疾患は多種多彩で、他の臓器と関連する病態も多く存在します。

肺癌をはじめとした悪性腫瘍、肺炎や肺結核といった呼吸器感染症、びまん性肺疾患（間質性肺炎）やCOPD・喘息、気胸といった胸膜疾患など数多くの疾患があります。

症状も咳や痰など軽いものから、呼吸不全など迅速な処置を要するものまで様々です。胸部X線やCT、MRIなど画像検査、微生物検査、病理学的検査など必要な検査を行い、迅速に診断と治療を行います。また、他診療科や看護部、薬剤部、リハビリテーション部とも連携を取り、適正な診療に心がけています。

皮膚科

外来担当

診療科		月	火	水	木	金
皮膚科	午前					大学医師

診療科の特徴

当科では皮膚科一般を幅広く扱っています。お肌に出来たものは何でも相談下さい。皮膚科全般（アレルギー疾患・皮膚感染・皮膚腫瘍など）に対応しています。症状のみでは診断が困難な症例に対しては、皮膚生検をし、次の治療をすすめています。また、皮膚腫瘍の外来手術も行っています。



糖尿病・内分泌・代謝内科

医師紹介

副院長 / 内科主任部長 / 健診センターセンター長 / 医療連携部門部門長



あしざわ きよと
芦澤 潔人

[専門]
内分泌全般
生活習慣病

[認定]
日本内科学会認定内科医
日本内科学会認定総合内科専門医
日本内分泌学会専門医・指導医・評議員
日本甲状腺学会専門医・評議員
日本医師会認定産業医

内科医員



いわもと ゆう
岩本 悠

[専門]
内分泌全般
生活習慣病

非常勤医師



いずみ もともし
和泉 元衛

[専門]
内分泌全般
生活習慣病
睡眠障害

[認定]
日本内科学会認定内科医
日本甲状腺学会専門医・評議員
日本内分泌学会専門医・評議員
日本肥満学会評議員
日本糖尿病学会認定医
日本核医学学会認定医
米国睡眠ポリソムノグラフィー認定医

わたなべ せいや
渡部 誠也

非常勤医師（長崎大学病院）

さこう
酒匂 あやか

非常勤医師（長崎大学病院）

外来担当

診療科		月	火	水	木	金
糖尿病 内分泌 代謝内科	午前	岩本	芦澤	和泉 渡部	酒匂	芦澤
	午後	岩本				
フットケア	午後	岩本				

診療科の特徴

長崎市内の病院で内分泌学会専門医が所属する市中病院は少なく、広く紹介を受け入れている。院内で甲状腺ホルモン検査等は即日の結果がわかり、迅速な診断、治療方針の決定を心がけている。

内分泌疾患に関しては甲状腺疾患の紹介が多く、甲状腺結節のある患者さんは、超音波検査、細胞診検査を行っている。院内に専属の細胞検査技師がおり、迅速で正確な診断が可能となっている。甲状腺疾患以外も、下垂体疾患、副腎疾患、副甲状腺疾患も紹介を受けている。耳鼻咽喉科と連携し甲状腺、副甲状腺関連の手術は院内で行っている。また高齢者は、電解質異常の患者さんも少なくなく、ホルモン学的見地からの診断に、尽力している。

糖尿病に関しては、多職種との連携、他科との連携がスムーズに行くように心がけている。病棟別にカンファレンスを開催し、多職種から、いろいろな角度で情報を集め、ひとりひとりの患者さんのQOLを維持できるような治療方針を決めるようにしている。糖尿病教育入院は2週間の入院期間でほぼ年中継続している。

糖尿病の各種合併症に対しては、

- 1) 神経障害は、末梢神経障害のみならず自律神経障害の診断・治療も行っている。
- 2) 腎症は、進展防止を図るための保存的治療を強化して実施するとともに、末期腎不全期へ進行した場合は当院透析センターと連携して問題なく維持透析へ移行できる体制を整えている。
- 3) 網膜症は、眼科と連携して診療を行っている。

糖尿病患者さんで有病率が高率である動脈硬化性疾患、悪性腫瘍については積極的にスクリーニング検査を実施している。治療を要する場合は循環器科、脳卒中科、外科等と連携して対応している。

また、NST活動にも従事し、患者さんの病態に適した最善の栄養を提供できるようにしている。

内分泌、代謝疾患は他の分野とも広く関連した疾患であり、院内、院外を問わず連携を重視し、チーム医療を推進している。

小児科

医師紹介

小児科医員



たなか さき
田中 沙紀

[専門]
小児総合

[認定]
日本小児科学会小児科専門医

小児科医員



おくの かおり
奥野 香織

[専門]
小児総合

[認定]
日本小児科学会小児科専門医

小児科医師



いとう まさのぶ
伊藤 正宜

[専門]
小児総合

[認定]
日本小児科学会小児科専門医

外来担当

診療科		月	火	水	木	金
小児科	午前	田中 奥野	田中 奥野	ワクチン 検診	田中 奥野	田中 奥野
	午後	田中 奥野	田中 奥野		田中 奥野	田中 奥野



診療科の特徴

当院小児科では特別な専門外来は設けておりませんが、乳幼児から中学生までの内科的疾患全般を診療対象としています。

年間約150名の小児の入院診療を行っています。入院された患者さんの95%以上は長崎市近郊の開業医の先生方からのご紹介です。小児科入院の平均在院日数は5日程度であり、疾患別では呼吸器、消化器などの各種感染症が過半数を占めます。その他、気管支喘息発作や川崎病などの入院治療も行っています。私たちは当院の全館個室という利点を生かしつつ、感染隔離に留意しながら診療にあたっています。平日は17時15分まで、土曜日は15時までは患者さんのご紹介に対応できる体制をとっております。

小児科の入院病棟は混合病棟です。全室個室での入院となるため、ご家族の付き添いをお願いしていますが、複数人での付き添いや18歳以下のご家族、ご兄弟同伴の付き添いは安全面、感染面などから基本的にお断りしています。また付き添いのご家族へのお食事提供は行っておりません。ご入院を検討いただいてご紹介いただく際は、ご配慮いただきますようお願い申し上げます。ご面会につきましては、2023年5月現在では平日14時～17時に中学生以上のご家族2名まで、30分間のご面会が可能です。今後の感染症流行状況などによって変更となる可能性がございますがご了承ください。

外来には年間延べ約1,000名の患者様が受診されます。平日は15時30分まで受付をしています。外来では開業医の先生方からご紹介いただいた患者さんや、就学援助受給者など生活困窮者の方に対するかかりつけ医として診療を行っています。当院は現在、紹介状をお持ちでない初診の患者さんにつきましては、乳幼児であっても選定療養費をいただいております。先生方のかかりつけの患者さんが当院を受診される際には、お手数をおかけいたしますが紹介状の作成をお願いいたします。また、当日受診をご希望の場合はお電話でご一報いただけますと幸いです。

長崎市近郊の二次救急対応小児の入院施設として、また生活困窮者に対して医療を提供する施設として、地域の小児医療に貢献できる病院にしていきたいと考えています。そのためにも、今後も開業医の先生方との連携を密に取り、必要とされる小児科入院施設であり続けられるよう精進して参ります。今後ともよろしくお願いいたします。

外科

医師紹介

外科主任部長 / 消化器病センターセンター長



たなか けんじ
田中 賢治

[専門]
消化器
救急
癌治療

[認定]
日本外科学会専門医・指導医
日本消化器外科学会専門医・指導医
日本救急医学会救急科専門医
日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医
日本がん治療認定医機構がん治療認定医
日本医師会認定健康スポーツ医

外科部長



こまつ ひであき
小松 英明

[専門]
消化器

[認定]
日本外科学会専門医・指導医
日本消化器外科学会専門医・指導医
日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医
日本がん治療認定医機構がん治療認定医
抗菌化学療法認定医
日本DMAT隊員
ALTA実施医

外科医員



いしまる かずひで
石丸 和英

[専門]
消化器

[認定]
日本外科学会専門医

外来担当

診療科		月	火	水	木	金
消化器外科	午前	小松 野川	田中	石丸	田中	小松

診療科の特徴

消化器疾患に対し、腹腔鏡手術を積極的に行っています。2020年度集計では、腹部疾患の75%に腹腔鏡手術を施行いたしました。腹腔鏡手術は、胃癌・大腸癌などの消化器癌ばかりでなく、胆嚢結石、虫垂炎、鼠径ヘルニア、腹壁癭痕ヘルニアなど腹部良性疾患に対しても、施行しております。

腹腔鏡手術は通常開腹術に比べ、術後の回復が早く、早期退院・早期日常生活復帰も可能です。虫垂炎や鼠径ヘルニアでは、ほとんどの方が1週間以内に退院されております。

一方で、元々の体力が落ちている方々はどうしても術後の回復が遅れます。当院では整形外科・リハビリテーションが充実しており、そのような方に対しては地域包括ケア病棟にてご自宅退院に向けてリハビリを行っております。今後も様々な改良を重ね、より良い医療の提供に努めてまいります。

脳神経外科

医師紹介

脳神経外科部長



うしじま りゅうじろう
牛島 隆二郎

[専門]
脳神経外科全般
脳卒中
脳血管障害
頭部外傷
小児神経外科

[専門]
日本脳神経外科専門医
日本小児神経外科認定医

外来担当

診療科		月	火	水	木	金
脳神経外科	午前	牛島	牛島		牛島 (第1・第3)	牛島

診療科の特徴

24時間 脳神経外科疾患、特に脳卒中や頭部外傷等の神経救急疾患に対応しています。CT、MRI、血管撮影装置は24時間撮影可能であり、迅速・確実な診断を行うことで、緊急手術も可能です。実際の救急の場面では、循環器疾患や呼吸器疾患、外傷であれば胸部外科、整形外科などの合併疾患が問題となりますが、当院にはさまざまな専門医が在籍しているため、合併する疾患に対しての加療も行います。

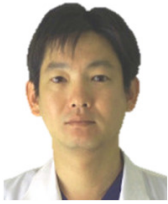
地域の脳神経疾患医療に少しでも貢献できるよう、日々診療に取り組んでおります。



整形外科

医師紹介

整形外科主任部長 / 救急センターセンター長



さきむら こういちろう
崎村 幸一郎

[専門]
整形外科一般
外傷
関節外科

[認定]
日本整形外科学会専門医
日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医
日本DMAT隊員

整形外科医長



はるた しんいち
春田 真一

[専門]
整形外科一般

整形外科医長



なかがわ こういちろう
中川 皓一郎

[専門]
整形外科一般

[認定]
日本整形外科学会専門医

院長



えとう まさお
衛藤 正雄

[専門]
整形外科一般
肩関節
肘関節
関節外科
スポーツ医学
末梢神経

[認定]
日本整形外科学会専門医
日本整形外科学会スポーツ医
日本整形外科学会運動器リハ認定医
日本体育協会認定スポーツ医
義肢装具判定医

外来担当

診療科		月	火	水	木	金
整形外科	午前	春田 中川	衛藤 崎村	中川	崎村 春田	衛藤 大学医師

診療科		月	火	水	木	金
リハビリ テーション科	午前	崎村	春田	衛藤	中川	大学医師

診療科の特徴

崎村・春田・中川・衛藤の合計4名が診療にあたっています。骨折・脱臼を中心とする外傷性疾患やスポーツ障害、四肢の関節疾患、骨粗鬆症などの運動器の疾患を幅広く診療しています。

当科の基本方針は「安全で確実な治療を行うこと」であり、その中に最新の知識や技術を導入して早期の機能回復や社会復帰を目指しています。手術に必要なインプラントを院内に常備しており、緊急に治療を開始する必要がある開放骨折や重度の四肢外傷に対応出来る診療体制を整えています。

また、小児の四肢外傷に対しても麻酔科医の協力のもと迅速に手術を行うことが可能です。

近年、急速に進む患者さんの高齢化に伴い、整形外科治療における合併症対策が重要になってきています。当科では各診療科と連携をとりながら全身管理を重視した治療を行っています。高齢者の大腿骨近位部骨折に対しては合併症の発症を防ぐべく、受傷後24時間以内の早期手術とリハビリテーションを組み合わせた積極的な治療を行い、受傷前の日常生活動作の再獲得を目指しています。

当院は地域医療の基幹病院として急性期型の診療を行っており、高齢者の脊椎圧迫骨折や大腿骨近位部骨折などは地域の回復期リハビリテーション病院や医療機関と連携しながら、安心・安全な医療の提供を心がけています。



産婦人科

医師紹介

副院長 / 産婦人科主任部長



ふじした あきら
藤下 晃

[専門]
産婦人科全般
婦人科内視鏡手術
婦人科腫瘍

[認定]
医学博士
長崎大学医学部（医学科）臨床講師
日本産科婦人科学会専門医・功労会員・指導医
日本産科婦人科内視鏡学会名誉会員
日本産科婦人科内視鏡学会腹腔鏡技術
認定医・子宮鏡技術認定医
日本内視鏡外科学会技術認定医
日本がん治療認定医機構暫定教育医
日本婦人科腫瘍学会功労会員
日本婦人科腫瘍学会指導医
日本婦人科腫瘍学会腫瘍専門医
日本生殖医学会評議員
日本産科婦人科医会長崎県支部常任理事
長崎県母体保護法指定医

産婦人科部長



ひらき こういち
平木 宏一

[専門]
産婦人科全般
婦人科内視鏡手術

[認定]
医学博士
長崎大学医学部（医学科）臨床教授
日本産科婦人科学会専門医・指導医
日本産科婦人科内視鏡学会腹腔鏡技術認定医
子宮鏡技術認定医・技術審査委員・評議員
実技研修会講師・教育委員会委員
長崎県母体保護法指定医

産婦人科部長



この みちはる
河野 通晴

[専門]
産婦人科全般

[認定]
日本産科婦人科学会専門医・指導医
日本産科、婦人科内視鏡学会腹腔鏡技術認定医
日本超音波医学会超音波専門医・指導医
日本内視鏡外科学会技術認定医
日本がん治療認定医機構がん治療認定医
長崎県母体保護法指定医
性感染症学会認定医
日本医師会認定健康スポーツ医
日本癌治療学会認定がん医療ネットワークナビゲーター
日本女性医学学会認定女性ヘルスケア専門医・暫定指導医
日本化学療法学会抗菌化学療法認定医
インфекションコントロールドクター(ICD)
弾性ストッキング・圧迫療法コンダクター
細胞診専門医
希少がん肉腫専門医
リンパ浮腫保険診療医

産婦人科医員



にいや あかり
新谷 灯

[専門]
産婦人科全般

[認定]
日本産科婦人科学会専門医

医師紹介

産婦人科医員

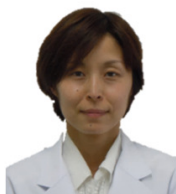


むらかみ とおる
村上 亨

[専門]
産婦人科全般

[認定]
日本産科婦人科学会専門医
日本産科婦人科遺伝診療学会 認定（周産期）

非常勤医師



ひらき ひろこ
平木 裕子

[専門]
産婦人科全般

[認定]
日本産科婦人科学会専門医
日本女性医学学会認定女性ヘルスケア専門医
検診マンモグラフィ読影認定医
長崎県母体保護法指定医

非常勤医師



くらた なお
倉田 奈央

[専門]
産婦人科全般

[認定]
日本産科婦人科学会専門医

外来担当

診療科		月	火	水	木	金
産婦人科	午前	平木宏 河野	平木裕 倉田	藤下 河野	平木宏 村上	藤下 新谷

診療科		月	火	水	木	金
四肢のむくみ	午後	河野				

診療科		月	火	水	木	金
リンパ浮腫	午後			河野		

産婦人科

診療科の特徴

当院の産婦人科は「患者さんのために最適かつ効果的な治療を提供する」ことをモットーとして、スタッフ全員で最高のレベルの医療を提供できるように努力しています。診療は手術が主体で、婦人科内視鏡手術と婦人科腫瘍を中心に治療を行っており、産科（分娩）は取り扱っていません。子宮筋腫や卵巣腫瘍などの良性疾患は年間700例近くの腹腔鏡手術の実績があり、日帰り手術などを含めて1,000例近くの症例数になります。また、初期の子宮体癌に対しては2014年から腹腔鏡下手術を導入し、すでに150例近く施行しており、長崎県内では最大の実績数があります。子宮頸癌に対しても2016年4月からは保険適用が認められたために、30例近くに達しています。さらに子宮脱、膀胱瘤といった骨盤臓器脱に対する腹腔鏡下手術も2016年5月に施設基準を取得し、すでに200例近くに達しました。従来の膣式手術に比較して患者さんの満足度がアップし、QOLの向上にも寄与しています。さらに2019年からは子宮内膜ポリープなどを細径子宮鏡下に切除する器具を購入し、日帰りでの手術を開始しています。2022年12月からは膣から行う腹腔鏡下手術（V-NOTES：Vaginal Natural Orifice Transluminal Endoscopic Surgery）というさらなる低侵襲性の手術を導入しており、この4ヶ月間で40例近くになっています。

長崎市内のみならず、近隣の先生からの紹介や依頼があれば、断ることなく、いつでも引き受ける体制をとっております。



泌尿器科

外来担当

診療科		月	火	水	木	金
泌尿器科	午前	大学医師		大学医師		大学医師
	午後			大学医師 (処置のみ)		

診療科の特徴

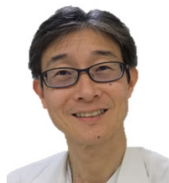
現在、長崎大学病院泌尿器科より非常勤医師を派遣していただいて診療を行っています。
外来診療は原則予約制となっており、月・水・金曜日の午前中の診療と水曜日の午後に処置を行っています。



耳鼻咽喉科・頭頸部外科

医師紹介

耳鼻咽喉科・頭頸部外科部長 / 臨床研修教育センター長
(長崎大学病院医療教育開発センター長崎医療人育成室 教授)



かねこ けんいち
金子 賢一

[専門]
音声
甲状腺外科

[専門]
日本耳鼻咽喉科学会 専門医・指導医・喉頭形成手術実施医・
騒音性難聴担当医・補聴器相談医
日本内分泌外科学会 評議員・専門医・指導医
日本音声言語医学会 評議員
日本頭頸部外科学会 頭頸部がん専門医・指導医
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医
日本甲状腺学会認定専門医
日本気管食道科学会 認定専門医（咽喉系）
厚生労働省 音声言語機能等判定医師・補聴器適合判定医師
日本嚥下医学会 嚥下相談医

外来担当

診療科		月	火	水	木	金
耳鼻咽喉科 頭頸部外科	午前		金子		金子	金子

診療科の特徴

耳鼻咽喉・頭頸部領域の疾患を広く扱いますが、特に音声障害の診断・治療や甲状腺外科を専門として診療を行っています。

音声障害に対しては、「長崎ボイスセンター」を立ち上げ、チーム医療として取り組んでいます。喉頭内視鏡、ストロボスコーピー、高速度デジタル画像、音響分析などで評価し、薬物療法、言語聴覚士による音声治療、手術のなかから適切な方法を組み合わせ治療します。手術は、外来日帰りによる経口的喉頭内視鏡手術（声帯ポリープ切除、声帯内薬液注入など）や、入院のうえで喉頭微細手術や声帯麻痺に対する喉頭形成手術などを行います。また、声のアンチエイジングにも取り組んでいます。

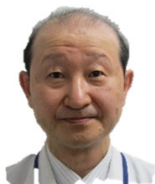
長崎県下では、日本甲状腺学会専門医である内科医・外科医がともに在籍する唯一の病院（2023年6月時点）であり、内科との連携のもとで多くの甲状腺疾患例を診療しています。甲状腺の手術は、甲状腺良性・悪性腫瘍、バセドウ病、副甲状腺腫瘍などを対象としています。

その他、突発性難聴・顔面麻痺・末梢性めまい・急性扁桃炎の入院治療や、反復する誤嚥性肺炎に対する喉頭気管分離術（術後人工呼吸を要しない例）を行います。

麻酔科

医師紹介

副院長 / 麻酔科主任部長



もろおか ひろあき
諸岡 浩明

[専門]
周術期全身管理

[認定]
日本専門医機構麻酔科専門医
日本麻酔科学会認定指導医
麻酔科標榜医

麻酔科部長

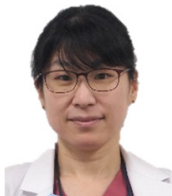


はしぐち ひでお
橋口 英雄

[専門]
周術期全身管理

[認定]
日本専門医機構麻酔科専門医
日本麻酔科学会認定指導医
麻酔科標榜医

麻酔科部長



おがた かな
小形 寛奈

[専門]
周術期全身管理

[認定]
日本専門医機構麻酔科専門医
日本麻酔科学会認定指導医
麻酔科標榜医

麻酔科医師



しばた おさむ
柴田 治

[専門]
周術期全身管理

[認定]
日本専門医機構麻酔科専門医
日本麻酔科学会認定指導医
麻酔科標榜医

診療科の特徴

4部屋の手術室に対して4名で診療を行っており、全員が麻酔科標榜医の資格を有しています。

業務内容は周術期の全身麻酔、脊椎麻酔、静脈麻酔、神経ブロックを中心として、患者さんが安心して手術に臨むことができるように（１）周術期を通して安全で、（２）目的の手術に適した、（３）術後の痛みをできるだけ和らげるような麻酔を提供するように心がけています。

全身麻酔の導入では、全ての手術室にビデオ喉頭鏡(McGRATH)を備えて安全な気管挿管を行っています。また、速やかな麻酔覚醒と術後早期の体力回復に結び付くように新しい薬剤や技術の導入に努めています。そのために揮発性吸入麻酔薬デスフルランに加えて新しい静脈麻酔薬アネレムを導入して、麻酔覚醒がこれまでよりもさらに速やかになりました。また、昨年、強力な制吐剤オンダンセトロンを術中から使用できるようになり、術後の悪心防止に役立っています。

神経ブロックでは、SonoSite 社のポータブルエコー（M-Turbo）を使用して、超音波ガイド下に腕神経叢ブロックや腹横筋膜面（TAP）ブロックなどを行い術後鎮痛に役立っています。

今後も更に麻酔の質向上に務めていきます。よろしくお願ひいたします。

放射線科

医師紹介

放射線科部長



おぎの かつお
荻野 歩

[専門]
放射線診断
IVR

[認定]
日本医学放射線学会認定放射線診断専門医

放射線科部長



むらかみ とものり
村上 友則

[専門]
放射線診断
IVR

[認定]
日本医学放射線学会認定放射線診断専門医
日本インターベンショナルラジオロジー
学会IVR専門医
日本乳がん検診制度管理中央機構検診
マンモグラフィ読影認定医

診療科の特徴

2020年6月から常勤医2名体制となりました。

近隣の医療施設からのCT、MRI（画像検査）のご紹介を承ります*1）。

造影CTとMRIについてはこれまで通り完全予約制です(*2)。

単純CTについては事前予約のほか、放射線科までお電話いただければ当日飛び入りの検査も承ります(*3)。

原則として検査当日に、患者さんご本人に、画像データと所見報告書をお渡ししています。

*1)検査内容によっては、お引き受けできないことがあります。

*2)当日飛び入りの検査ご依頼には、応じかねることがあります。

*3) 学会出張、病欠など諸事情により常勤医1名となる場合、当日飛び入りをお引き受けできないことがあります。

厚生労働省通達により、2020年4月から患者さんの医療被ばく軽減につとめることになりました。

当科にCTをご依頼してくださる際には、被ばくの正当化(例として「CT検査はX線被ばくを伴うが、病気の有無、あればその程度といった情報を得られる恩恵がリスクを上回ることから、検査を勧める」)を患者さんに説明し同意を得た旨を、貴院の診療録に記載していただく必要があります。当科への紹介状に「被ばく正当化の説明、同意済み」と記載していただければ助かります。今のところ当科では貴院に同意を得たことの証明書を求めないことにしております。

なお、被ばくを伴わないMRIのご依頼では必要ありません。

病理診断科

医師紹介

病理診断科部長



きのした なおえ
木下 直江

[認定]

日本病理学会認定病理専門医・研修指導医
日本臨床細胞学会細胞診専門医

診療科の特徴

患者さんから採取された病変が何であるか、顕微鏡下に細胞レベルで診断を行っています。臨床各科での診察やCT等での画像的診断と総合し、病気が良性か悪性か決定するための最終的な確認となります。

悪性と判明すれば、外科手術、化学療法、放射線療法等、さらなる治療方針決定の根拠となります。

手術で切除された臓器は全体を観察し、顕微鏡的に悪性度はどの程度か、どこまで広がっているか等を病理診断書にまとめて報告します。これにより、手術後は経過観察か、再度手術か、薬物療法をするか等、臨床各科にて治療方針が検討されます。時には当初の臨床的診断と異なった病理診断となることもあります。手術時の切除範囲を決める術中迅速診断も行っています。

病理診断科に何が求められているのか、臨床各科とのコミュニケーションを大切にし、速やかに治療方針を決定し診療を進められるよう迅速に診断を出すことを第一としています。



健診センター

医師紹介

副院長 / 内科主任部長 / 健診センターセンター長 / 医療連携部門部門長



あしざわ きよと
芦澤 潔人

〔専門〕
内分泌全般
生活習慣病

〔認定〕
日本内科学会認定内科医
日本内科学会認定総合内科専門医
日本内分泌学会専門医・指導医・評議員
日本甲状腺学会専門医・評議員
日本医師会認定産業医

健診部長



まつなが まゆみ
松永 真由美

〔認定〕
日本内科学会認定内科医
日本人間ドック学会人間ドック認定医
日本医師会認定産業医

診療科の特徴

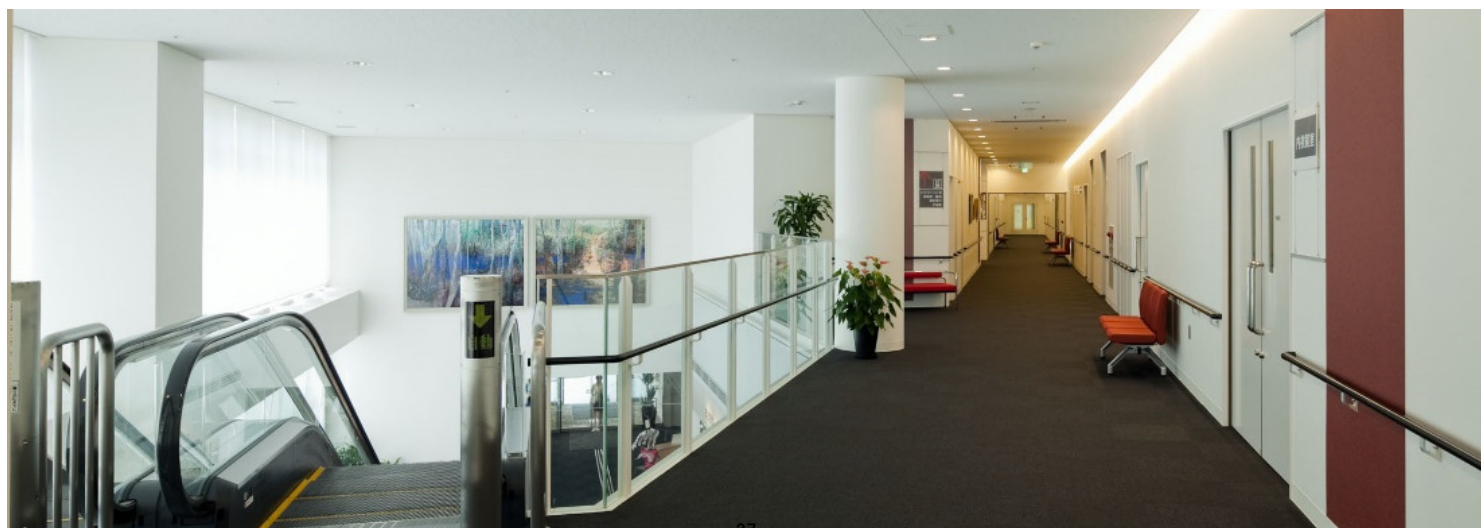
当健診センターでは、受診される方々のご希望に沿った健康診断・がん検診・人間ドック（日帰り）等を実施しています。

生活習慣病等の予防及び保健指導、各診療科専門医による様々な疾患の早期発見・精密検査・診断・治療まで円滑に幅広く支援させていただいています。

『人生100年時代いつまでも若く元気に』を願い、これからもスタッフ一同取り組んで参りたいと思います。

健診結果の二次検査や診療で、日頃から大変お世話になっております地域の諸先生方には心より御礼申し上げます。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



検査担当

診療科		月	火	水	木	金
一般健診		午前	松永	松永	松永	松永
長崎市 がん健診	胃がん	午前	消化器内科医師			
	乳がん	午前	乳房X線検査（マンモグラフィ）			
	子宮がん	午前	産婦人科 医師	産婦人科 医師		産婦人科 医師
	肺がん	午前	レントゲン検査・喀痰検査			
	大腸がん	午前	便検査			

健診内容

個人健診

特定健診、特定保健指導

就職前健診

企業健診

協会けんぽ生活習慣病予防健診

長崎市がん健診

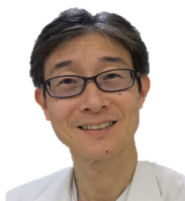
原爆被爆者健康診断

第二種健康診断（長崎被爆体験者）

臨床研修教育センター

医師紹介

耳鼻咽喉科・頭頸部外科部長 / 臨床研修教育センター長
(長崎大学病院医療教育開発センター長崎医療人育成室 教授)



かねこ けんいち
金子 賢一

[専門]
音声
甲状腺外科

[専門]
日本耳鼻咽喉科学会 専門医・指導医・喉頭形成手術実施医・
騒音性難聴担当医・補聴器相談医
日本内分泌外科学会 評議員・専門医・指導医
日本音声言語医学会 評議員
日本頭頸部外科学会 頭頸部がん専門医・指導医
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医
日本甲状腺学会認定専門医
日本気管食道科学会 認定専門医(咽喉系)
厚生労働省 音声言語機能等判定医師・補聴器適合判定医師
日本嚥下医学会 嚥下相談医

副院長 / 内科主任部長 / 健診センターセンター長 / 医療連携部門部門長



あしざわ きよと
芦澤 潔人

[専門]
内分泌全般
生活習慣病

[認定]
日本内科学会認定内科医
日本内科学会認定総合内科専門医
日本内分泌学会専門医・指導医・評議員
日本甲状腺学会専門医・評議員
日本医師会認定産業医

令和5年度入職 初期研修医



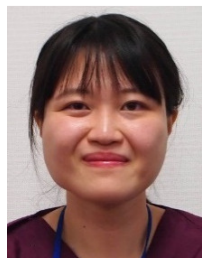
初期研修医 2年次



まつだ ゆうすけ
松田 悠佑



なかやま ようすけ
中山 耀介



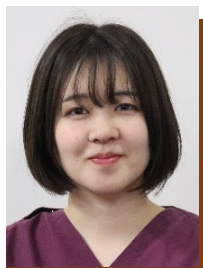
むらかみ ちはる
村上 千晶



よしの みるき
吉野 相輝



ますだ かく
増田 拡



なかむら よしこ
中村 桂子



まつお れな
松尾 玲奈

初期研修医 1年次



あわづ まなぶ
栗津 学



あやの ゆりか
綾野 友里佳

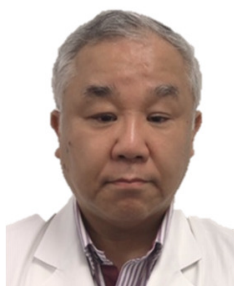


かぎもと たかひろ
鍵本 宇宏



よねくら だいすけ
米倉 大輔

医療連携部門



医療連携部門部門長

芦澤 潔人

ごあいさつ

日頃から、済生会長崎病院をお引き立ていただきありがとうございます。

医療連携部門は、「地域医療連携センター」と「患者サポートセンター」の体制で、入院・退院・転院への支援や調整、地域の医療機関・事業所等との連携強化、医療相談など、さまざまな分野で活動しておりますが、新たに「入退院支援センター」「地域医療連携センター」「患者相談支援センター」と人員を増員し、体制の見直しを行いました。

この体制強化により、入院決定時から退院を見据えた支援がより強固になるものと確信しております。これから更に患者さんやご家族の想いに寄り添い、地域医療の発展に、医療連携部門一丸となって努めていきたいと思えます。

今後とも、ご指導・ご支援のほどよろしくお願いいたします。

医療連携部門

入退院支援センター



地域医療連携センター



患者相談支援センター



入退院支援センター センター長
泉田 まゆみ



入退院支援センターでは、予定入院の患者さんに安心して入院生活を送って頂くことを目標に入院が決定した時点から支援させていただいております。入院中に行われる治療や入院生活に関する説明、入院前の生活状況、服薬状況の確認、褥瘡・栄養スクリーニング等を実施しております。医師、管理栄養士、薬剤師、社会福祉士、病棟看護師、理学療法士とチーム医療における連携の一端を担っております。入院前から、退院を見据えた援助を行い、住み慣れた地域で安心して生活していただけるように支援しております。

地域医療連携センター センター長
松崎 優美



地域医療連携センターでは、地域の医療機関からの窓口となり、迅速で確実な対応で患者さんが安心かつスムーズに受診していただけるような体制を目指し、地域のかかりつけ医の先生方との病診連携の推進、地域の医療福祉機関の皆さまとの連携を強化し、「地域医療支援病院」として良質な医療サービスを提供できる体制づくりに努めております。

退院支援看護師や社会福祉士による退院支援・調整活動の推進を図り、患者さんやご家族にとって安心な医療を継続可能となるように医療福祉連携機関との連携強化を行っております。また、受傷することにより生じる経済的・心理的・社会的な問題に対して、社会福祉の専門的な立場から患者さんやご家族のサポートを行います。

済生会の根幹事業であります無料低額診療事業の推進、生活困窮者支援事業を行い、良心と思いやりをもって地域の人々の医療・福祉・保健に貢献できるよう取り組んでまいります。

患者相談支援センター センター長
奥川 政彦



患者相談支援センターでは、患者さん及びご家族からの疾病に関する医学的な内容、入院生活上や退院後の不安、医療費等の相談への対応、並びに重症患者さんの治療等に関する意思決定支援を他部署とも連携協働して行っております。また、がん、脳梗塞・脳出血・くも膜下出血、その他の急性発症した脳血管疾患、肝疾患、心疾患、糖尿病、若年性認知症、難病の患者さんに対して「療養・就労両立支援」を他部門と連携協働して行っております。

医療連携部門

地域医療連携センター

場所：診療棟2階

電話：0120-548-398（フリーダイヤル）

095-827-7021（予約専用）

FAX：0120-548-397（直通）

《受付時間》

平日：8：30 ～ 18：00

土曜：9：00 ～ 13：00

スタッフ紹介

【副院長 兼 医療連携部門部門長】

芦澤 潔人

【地域医療連携センター長】

社会福祉士 松崎 優美

【看護師】

退院支援専従看護師 國竹 裕子

【医療ソーシャルワーカー】

社会福祉士 松尾 順子

海部 清貴

【事務担当職員】

主任 田中 健太郎

中村 雅子

中尾 優花

退院/転院調整について

診療科の医師や看護師、コメディカル等と連携を行い、退院に向けて医療処置の簡便化を図り、病状と介護力に応じて、介護サービスの調整や在宅医療の医師・看護師と連携を図ります。転院においては、患者さん家族の希望を踏まえ、病状や病院機能に合わせた医療機関と連携を図ります。

福祉/制度について

傷病によって生じる心理・社会的問題に医療ソーシャルワーカーが担当し、社会保障制度・福祉制度の紹介、医療費等の相談に応じます。患者さんやその家族のみなさんにとって安心な療養環境や社会生活となるよう取り組んでいきます。また、当院の根幹事業である生活困窮者支援事業、無料低額診療事業の相談窓口として対応いたします。

地域連携について

当院と地域の開業医の先生方や医療機関からのご要望に迅速に対応できるような医療連携を行っています。その窓口として、外来診療やセカンドオピニオンの予約業務、診療情報提供書の発送などの紹介状・返書の実務業務を担当します。また、連携に関する症例検討会や研修会・勉強会の運営、地域医療支援病院運営委員会事務局も担当します。

病室について

【特別病室A】 6,600円/1日

32インチ液晶TV（BS付無料）、Wi-Fi、冷蔵庫（無料）、金庫、文机、ソファベッド、椅子（オットマンタイプ）、シャワー、ウォシュレットトイレ、キッチン、電子レンジ



【特別病室B】 4,400円/1日

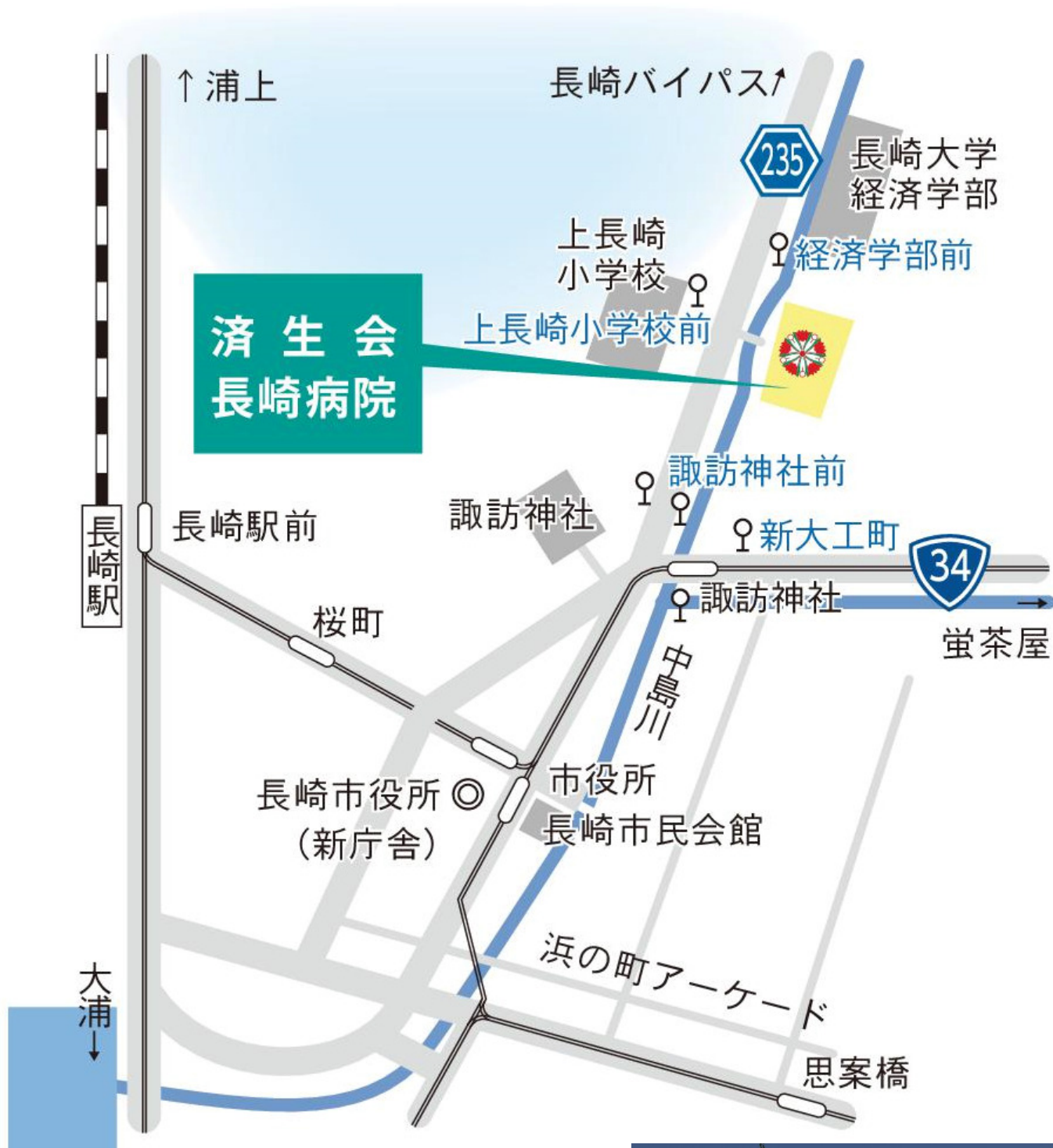
32インチ液晶TV（BS付無料）、Wi-Fi、冷蔵庫（無料）、金庫、文机、ソファベッド、椅子（オットマンタイプ）、シャワー、ウォシュレットトイレ



【一般病室】 無料

19インチ液晶TV（1,000円/15時間）、冷蔵庫（200円/1日）、金庫、クローゼット（扉なし）、パイプ椅子、シャワー、ウォシュレットトイレ





交通アクセス

Access

- 自家用車 市役所方面より馬町交差点を長崎バイパス方面へ左折1分
東長崎方面より馬町交差点を長崎バイパス方面へ右折1分
諫早・時津方面より長崎バイパス西山出口を出て3分
- バス 新大工町前下車、徒歩10分
上長崎小学校前／経済学部前下車、徒歩1分
- 電車 諏訪神社下車、徒歩10分
- タクシー 長崎駅より7分



外 観

社会福祉法人
 恩賜財団 **済生会長崎病院**
 SAISEIKAI NAGASAKI HOSPITAL

